

九州大学サステナブル水素研究所
水素利用研究部門・教授の公募について

九州大学サステナブル水素研究所は、これまで九州大学が蓄積してきた世界的な水素研究拠点としての豊富な実績、設備及び人材を統合し、水素の製造、輸送・貯蔵、利用に関する基礎研究から社会実装をシームレスに推進する新たな研究拠点の構築を目的として、令和8年4月1日に設置された研究所です。

このたび、下記のとおり本研究所の教授を国際公募します。

なお、本研究所の詳細については、ホームページ<https://sustainable.hydrogenius.kyushu-u.ac.jp>をご参照ください。

記

1. **募集人員:** 教授 1名(任期なし)
2. **所 属:** サステナブル水素研究所 水素利用研究部門
3. **職 務:**
 - (1) サステナブル水素研究所水素利用研究部門において、当該専門分野に関する研究を推進すること。
 - (2) 産学官連携、国際連携及び外部資金の獲得等を通じて、研究成果の社会実装及び研究所の発展に貢献すること。
 - (3) 関連教育組織における研究指導及び研究所運営に貢献すること。
 - (4) 大学院・学部における教育活動(講義・実験・演習・入試を含む)及び学生指導を担当すること。
4. **専門分野:** 高分子電解質、燃料電池材料、固体高分子形燃料電池、固体酸化物形燃料電池、電気化学性能、長期耐久性、水素エネルギー、電気化学、材料科学、脱炭素エネルギーシステム
5. **応募条件:** 次の各号の条件をいずれも満たす者
 - (1) 博士またはPh.D.の学位を有する者、またはそれと同等以上の能力を有すると認められる者
 - (2) 燃料電池などの水素利用技術や水素モビリティに関する知見・経験を有する者
 - (3) 燃料電池用高分子電解質材料などの水素利用技術における研究で、国際的な業績を有する者
 - (4) 水素利用技術に関する研究教育成果の社会実装や社会的課題の解決に取り組んだ実績を有するか、あるいはこれらのことに強い関心と意欲を有する者(研究プロジェクトの獲得とチームでの研究推進経験を含む)
 - (5) 競争的資金、企業との共同研究費等の外部資金の獲得実績を有する者

- (6) 企業・自治体・研究機関・国際機関・政府等との連携に意欲を有する者

6. 求める人材像

- (1) 固体高分子形燃料電池などの水素利用技術の新展開や用途拡大に向けて、重要なデバイス開発やその基盤となる材料の研究に取り組める方
- (2) 高分子電解質などの新規材料研究と水素モビリティ向けなどへの展開を牽引できる方
- (3) 熱マネジメント・熱工学などのシステム研究者や産業界と連携し、固体高分子形燃料電池の高温作動化などのシステム課題の解決に、材料・デバイス設計の視点から貢献できる方

以下の事項を評価します。

- (i) 研究の卓越性と国際的評価
インパクトの高い論文、明確な科学的貢献、高分子電解質などの水素利用材料研究における世界的な認知度
- (ii) 研究資金獲得の可能性と研究プログラムの規模
競争的研究資金(日本および国際的)、本研究所の優先事項(本公募の専門分野)に沿った持続可能な研究プログラム
- (iii) 当研究所への技術的適合性と貢献
燃料電池における高分子電解質などの専門知識と、特に水素モビリティに関して、工学、化学、エネルギーシステムを超えた学際的な連携研究のポテンシャル
- (iv) 教育、若手育成、学内の多様な業務
水素利用関連材料・高分子材料に関わる効果的な教育、大学院生の指導へのコミットメント、教育組織および大学全体の活動への有意義な貢献

7. 着任日： 採用決定後できるだけ早い時期

8. 職業安定法に基づく明示事項

- (1) **任期:**なし(定年による退職は、65歳以後における最初の3月31日)
- (2) **試用期間:** 試用期間あり(3か月)ただし、国、地方自治体又はこれに準ずる関係機関の職員から引き続き本学の職員となった者については、この期間を短縮し、又は設けないことがあります。(本学就業通則第6条第1項)
- (3) **就業場所:** 九州大学伊都キャンパス(福岡県福岡市西区元岡744)
- (4) **就業時間、休憩時間、時間外労働:** 採用者の同意に基づき専門業務型裁量労働制が適用され、7時間45分働いたものとみなされます。1日の勤務時間が6時間を超える場合は45分以上、7時間45分を超える場合は1時間以上の休憩時間を勤務時間の途中に置くものとします。休日出勤が生じる場合があります。
- (5) **休日:** 原則、土・日曜日、祝日、年末年始(12/29～1/3)

- (6) **賃金:** 年俸制(令和2年4月1日導入の年俸制)が適用されます。なお、年俸額については経験等に基づき本学の関係規定により決定します。
- (7) **加入保険:** 雇用保険、労災保険、文部科学省共済組合(健康保険、厚生年金)に加入
- (8) **募集者の氏名又は名称:** 国立大学法人九州大学 サステナブル水素研究所
- (9) **受動喫煙防止措置の状況:** 敷地内全面禁煙

9. 提出書類(提出書類はすべて英語で作成し、電子媒体で提出ください。)

- (1) **本学所定の履歴書(写真貼付)**
- (2) **研究業績書:** (a) 原著論文、(b) 総説・解説、(c) 著書、(d) 国際会議プロシーディング、(e) 招待・依頼講演、(f) その他の業績に分類し、それぞれ新しいものから順に並べてください。なお、応募者が筆頭著者あるいは責任著者である論文は、識別できるように*(アスタリスク)を付けてください。
- (3) **教育、組織運営等に関する業績書:** (a) 大学における講義・演習等の教育実績、(b) 組織運営に関する業務実績、(c) アウトリーチ活動実績、(d) 国内・国際連携活動実績、(e) 国際機関における活動実績、(f) その他の実績に分類し、それぞれ新しいものから順に並べてください(A4判用紙2ページ以内)。
- (4) 研究業績のうち、主要なものを最大5件選定し、PDFファイルを添付ください。
- (5) **応募の動機及び業務に関する実績と抱負**(A4判用紙2ページ以内)。特に、固体高分子形燃料電池などの水素利用分野の先端研究と、水素エネルギー関連の博士レベルの人材育成への貢献に関する、実績と抱負を重点的に記載ください。
- (6) **これまでの研究教育活動の概要**(A4判用紙2ページ以内。必要に応じて図表等を挿入して構いません。)
- (7) **外部資金獲得実績**(代表・分担の別を明記ください。ただし、過去5年以内のものに限ります。公的研究資金と民間研究資金に分けて、それぞれ記入ください。)
- (8) **応募者について照会可能な2名の氏名及び連絡先**(氏名、所属、職、メールアドレス、電話番号を記述したもの)

10. 応募期限: 令和8年8月18日(火)(必着)(日本時間24:00)【公募期間延長】

11. 選考方法: 一次選考(書類審査)及び二次選考(面接審査)を実施

※面接の際の旅費等は自己負担とします。

※面接は原則として対面で実施しますが、事情に応じてオンラインで実施する場合があります。

※面接審査時に模擬講義(燃料電池や水素エネルギー関連)を行ってもらうことがあります。

12. 書類提出先:

提出先: s-hydrogenius.jinji@jimu.kyushu-u.ac.jp

九州大学¹CNER・Q-PIT共通事務支援室総務・人事グループ

※メールの件名に「教員(水素利用研究部門教授)の応募」と記載ください。

※提出書類はPDFファイルにて作成し、添付してください。(1)～(8)の提出書類は、それぞれ一つのファイルとし、ファイル名に1～8の番号を記載ください。

※ファイルサイズの合計が5MBを超える場合は、事前にメールにてお知らせください。
提出用のURLをお送りします。

※応募を受け付けた場合、必ずメールにて返信を行います。提出後、3営業日以内に返信がない場合は、お問い合わせください。

13. 問合せ先

九州大学¹CNER・Q-PIT共通事務支援室総務・人事グループ 武安、西国領

TEL: 092-802-6932、2606

E-mail: s-hydrogenius.jinji@jimu.kyushu-u.ac.jp

14. その他:

- 九州大学では、男女共同参画社会基本法(平成11年法律第78号)の精神に則り、教員選考を行います。
九州大学男女共同参画推進室の詳細はこちら<http://danjyo.kyushu-u.ac.jp/>
- 九州大学では、「障害者基本法(昭和45年法律第84号)」、「障害者の雇用の促進等に関する法律(昭和35年法律第123号)」及び「障害を理由とする差別の解消の促進に関する法律(平成25年法律第65号)」の趣旨に則り、教員の選考を行います。
- 九州大学では、平成29年7月より配偶者帯同雇用制度を導入しています。
- 過去に学生に対するセクシャルハラスメントを含む性暴力等を原因として懲戒処分等を受けた場合には、処分の内容及びその具体的な事由を履歴書等に必ず記入願います。虚偽の記載があった場合には、採用取消や懲戒処分等の対象となることがあります。
- 提出書類は選考以外の目的には使用しません。